

平成30年度 第二尾張荘デイサービスセンター事業報告

【施設種別】介護保険法による通所介護・予防専門型通所サービス【1日利用定員】25名

平成30年度の目標は、①総合事業「運動型通所サービス」で行っている運動機能改善プログラムを全職員が習得し、その運動機能改善プログラムを認知症予防にも生かしていく。②利用者と家族のニーズに合わせ、サービス提供時間やサービス内容について柔軟な対応をする。以上の2点を目標とした。

しかし①の運動機能改善プログラムの習得に関しては、職員体制が整わず、30年度に実施することができず、31年度7月からの実施を目指して現在職員がプログラムの習得に励んでいる段階である。

②に関しては時間延長の依頼に応えたり、朝食後薬を服用できない方への対策を講じる等、出来る限りの柔軟な対応を心がけた。

しかし短時間（3～4時間）のリハビリ専門型デイサービスの増加や、施設入所等によりデイサービス開始から中止に至るまでのサイクルが非常に短くなっていることもあり、利用者の減少を食い止めることが困難な状態が続いた。さらに提供時間区分の見直しによる報酬単価引き下げの影響も大きく受けた年度であった。

そのような中で認知症進行予防に繋がるプログラムを検討し、顧客満足度を上げるためにできることを職員間で話し合い、利用者・家族・ケアマネジャーから選ばれるデイサービスを目指し、30年度は以下のように事業を実施した。

1 基本方針

当施設にあっては、創設者の「愛するものは愛される」の経営理念に基づき、長年のデイサービスセンター経営の経験と、そのノウハウの蓄積を活かし、「尊厳と生きがいのある生活」「利用者本位の自立支援」を基本として、利用者の要介護状態の軽減若しくは悪化の防止、又は、要支援・要介護状態となることの予防を資するものである。

2 介護度の改善・維持の取り組み

介護保険のサービスの基本は、「利用者本位」のサービスであり、「自立支援」にある。そのために利用者課題の把握に努め、ケアプランに基づき、介護度の維持・改善に努めた。また利用者自ら自主的にリハビリを実施できるよう、フロアにリハビリ器具を配置し、要支援から要介護の方まで、無理なく使用していただき、身体機能の維持・向上に取り組んだ。

3 介護保険外サービス

独居利用者の夕食準備にかかる負担の軽減や、家族の介護負担軽減を目的として、施設と同じ献立の夕食弁当をデイサービス利用時に、自宅まで届けるサービスを開始して約7年、利用者数は一日平均3～4名であった。また引き続き外部美容師による理容を実施し、ひと月に15～20名の方が利用され、外出が難しい利用者の在宅生活を支える一助となった。

4 ユーザー評価事業の実施

施設経営には、基本的理念、経営方針はもとより、利用者の権利擁護、人権の尊重といった根源的な理念を踏まえた民主的で健全な事業経営が求められている。運動型通所サービスも含め、ユーザー評価事業及び情報開示事業の実施により、利用者、家族の「安心」と「信頼」を得られるよう、サービスチェックを行い、問題の洗い直しと改善目標を設定し、サービスの向上に努めた。

5 アクティビティ活動の促進

表 17 (一日のサービス実施内容) 参照

6 事故防止対策の取り組み

事故防止対策は、職員一人一人の意識対策が必要であり、「ヒヤリハット」「車両ヒヤリハット」「できごと報告書」「ヒヤリメモ」を通して改善策を見だし、事故発生時においては、「事故・苦情マニュアル」に基づき迅速に対応するように努めた。さらに毎月の職員会議の場でヒヤリハットの検証を行い、大きな事故を引き起こすことがないよう心掛けた。

7 運動型デイサービスの実施

平成28年10月から開始した総合事業の運動型デイサービスは、実費希望者を含め4名が利用している。体力測定の効果も可視化することができ好評を得た。

8 職員の安全衛生・メンタルヘルスの取り組み

ストレスチェックや安全衛生の取り組み(交通安全危険予知・腰痛予防・感染症対策など)を行い、身体的・精神的負荷の軽減を図り、より良い職場環境と心身の健康を保持し、良質な介護サービスが提供できるよう努めた。

9 設備・備品の改善

- ・ブルーレイレコーダー購入
- ・天井照明のLED化
- ・浴室暖房の設置

10 職員の配置状況

(平成31年3月31日現在)

	施設長	生活相談員	看護師	介護士	運転士	計	兼務
正職員	1	3	—	3	—	4	③
臨時職員	—	1	—	2	—	2	①
非常勤職員	—	2	2	7	—	10	①
派遣職員等	—	—	—	2	3	5	—
計	1	6	2	14	3	21	(⑤)
兼務	①	⑥	②	⑤	—	—	—

11 職員の研修状況

4月	・虐待・権利擁護・倫理・認知症の理解に関する研修	内部研修
5月	・事故の発生等緊急時の対応に関する研修 ・サービスに関する情報共有研修（胃ろう）	内部研修 内部研修
6月	・身体拘束等の排除のための取り組みに関する研修 ・サービスに関する情報共有研修（筋萎縮性側索硬化症） ・職員行動マニュアルの見直し ・褥瘡予防・褥瘡処置についての研修	内部研修 内部研修 内部研修 内部研修
7月	・認知症介護の取り組み事例検討	内部研修
8月	・事件事例・ヒヤリハット事例等事故防止につながる検討 ・利用者のプライバシー保護の取り組みに関する研修 ・感染症及び食中毒の発生の予防及びまん延防止に関する研修	内部研修 内部研修 内部研修
9月	・ヒヤリハット事例の検討 ・業務改善の取り組み ・事故の発生予防又はその再発の防止に関する研修	内部研修 内部研修 内部研修
10月	・ヒヤリハット事例の検討	内部研修
11月	・初心者向け介護技術研修 ・施設や在宅で問題となる感染予防対策研修	外部研修 外部研修
12月	・ヒヤリハット事例の検討	内部研修
1月	・玉葉会研修報告 ・介護技術研修 ・非常災害時の対応に関する研修	内部研修 内部研修 内部研修
2月	・認知症介護基礎研修 ・ユーザー評価の結果より	外部研修 内部研修
3月	・高齢者レクササイズ研修 ・チームワーク向上基礎研修 ・業務改善の取り組み	外部研修 内部研修 内部研修

12 区別登録者の状況

(平成31年3月31日現在)

	守山区	その他の区	計
男性	12人	0人	12人
女性	43人	0人	43人
計	55人	0人	55人

13 利用者の要介護度の状況

(平成31年3月31日現在)

登録現員	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
55人	1人	1人	11人	11人	20人	9人	0人	2人	—
100%	1%	1%	20%	20%	37%	17%	0%	4%	1.55
29年度	—	6%	13%	23%	39%	17%	0%	2%	1.98

14 利用の状況

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

	実施 日数 (日)	登録者数 (人)		延利用者数 (人)			1 日当た りの平均 利用人数	30 年度 利用率 (稼働率)	29 年度 1 日平均 利用人数	29 年度 利用率 (稼働率)
		総合 事業	通所 介護	総合 事業	通所 介護	利用者 数合計				
4月	25	11	51	54	433	487	19.4	77.9%	20.6	82.2%
5月	27	12	54	71	503	574	21.2	85.0%	20.3	81.2%
6月	26	12	52	73	472	545	20.9	83.8%	20.8	83.1%
7月	26	12	52	72	481	553	21.2	85.1%	21.1	84.5%
8月	27	10	51	62	461	523	19.3	77.5%	20.5	81.9%
9月	26	10	49	59	404	463	19.2	77.2%	21.1	84.3%
10月	26	11	46	75	418	493	18.2	73.0%	20.1	80.8%
11月	26	11	42	72	381	453	17.4	69.7%	19.4	77.5%
12月	25	10	44	76	383	459	18.3	73.3%	18.4	73.4%
1月	25	10	42	68	369	437	17.5	70.2%	17.5	70.1%
2月	24	10	42	66	361	427	17.8	71.2%	19.1	76.5%
3月	26	13	42	71	378	449	17.3	69.1%	16.9	67.4%
計	308	158	567	819	5,044	5,863	—	—	—	—
平均	25.6	—	—	—	—	—	18.9	76.0%	19.7	78.6%

15 利用者のADLの状況

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

ADL		男性	女性	計	割合
歩 行	全 介 助	0 人	2 人	2 人	4%
	一部介助	5 人	21 人	26 人	47%
	自 立	7 人	20 人	27 人	49%
食 事	全 介 助	0 人	0 人	0 人	0%
	一部介助	1 人	11 人	12 人	22%
	自 立	11 人	32 人	43 人	78%
入 浴	全 介 助	0 人	2 人	2 人	4%
	一部介助	11 人	35 人	46 人	83%
	自 立	1 人	6 人	7 人	13%
着脱衣	全 介 助	0 人	0 人	0 人	0%
	一部介助	4 人	24 人	28 人	50%
	自 立	8 人	19 人	27 人	50%
排 泄	全 介 助	0 人	2 人	2 人	4%
	一部介助	5 人	22 人	27 人	49%
	自 立	7 人	19 人	26 人	47%
認 知 症		9 人	31 人	40 人	73%

※重複あり

16 年齢別の状況

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

	男性	女性	計	割合
65 歳～69 歳	0 人	0 人	0 人	0%
70 歳～74 歳	1 人	2 人	3 人	5%
75 歳～79 歳	1 人	7 人	8 人	16%
80 歳～84 歳	3 人	7 人	10 人	18%
85 歳～89 歳	3 人	12 人	15 人	27%
90 歳～94 歳	4 人	10 人	14 人	25%
95 歳～99 歳	0 人	5 人	5 人	9%
100 歳以上	0 人	0 人	0 人	0%
計	12 人	43 人	55 人	100%
平均年齢	84.4 歳	88.7 歳	85.9 歳	—

17 一日のサービス実施内容

身体機能の維持・向上を図り転倒予防に努める・脳の活性化を図り認知症の進行予防に努める・気分転換を図り精神的安定を図る等を目的として、複数のメニューから利用者自らが主体的に選択することを重点に置き取り組んだ。

	午前のメニュー	午後のメニュー	その他のメニュー
手指 認知 創作 精神安定	入浴 計算問題・国語問題 カレンダー作成 間違い探し・塗り絵 オセロ・囲碁 書道教室・音楽療法 大正琴鑑賞	料理・針仕事・編み物 消しゴム版画・ちぎり絵 創作生け花・押し花 回想法・川柳・映画 麻雀・五目並べ・工作 尋常小学校読本 壁画作り・朗読会	ネイルケア ハンドマッサージ 整膚 健康に役立つ話し 生活に役立つ情報 傾聴・各種相談・行事 アロマ
運動	健康チェック リハビリ（器具を使用）	外出 オリエンテーリング リハビリ体操・ボール体操 リハビリ（器具を使用） ボーリング・輪投げ 脚力ゲーム	歩行訓練 転倒防止体操 上肢体操 下肢体操
口腔	口腔体操	カラオケ 会話・談話	発声訓練 口腔ケア
栄養	水分摂取・体重測定	食事・おやつ	旬の食材や栄養の話